

アクセスコントロールプラットフォーム「ALLIGATE(アリゲイト)」 新製品の販売を開始

株式会社アート(東京都品川区、代表取締役社長:関本祥文)は、自社が運営するアクセスコントロール専用プラットフォーム「ALLIGATE(アリゲイト)」に対応した新製品の販売を開始いたしました。



ALLIGATE CylinderLock



ALLIGATE HandleLock



ALLIGATE PadLock

<https://alligate.me/product>

これは、当社がセキュリティ専門メーカーとして長年培ってきた技術とノウハウに加え、当社親会社である株式会社アイ・エス・ビー(本社:東京都品川区、代表取締役社長:若尾逸雄)より通信・ソフトウェア技術のサポートを受け製品化したものです。

製品の詳細については、ALLIGATEのWebサイト内に開設予定のプロダクト専用Webコンテンツ(10月下旬開設予定)をご確認ください。

なお、2018年10月24日から幕張メッセで開催されるIoT/M2M展に本製品を展示します。

1. 製品概要について

製品名	発売予定	特徴
ALLIGATE IO (2018年5月発表製品)	2018年11月	設備制御用の入出力装置 設備(照明・空調・ELV等)のコントロールを想定
ALLIGATE Logger (2018年5月発表製品)	2018年11月	操作ログを残す装置 (勤怠時間記録装置としてのご利用を想定)
ALLIGATE CylinderLock (新製品)	2018年12月	手動で操作する方式の鍵
ALLIGATE PadLock (新製品)	2019年1月	カードとBLEで解錠できる南京錠
ALLIGATE HandleLock (新製品)	2019年5月	レバーハンドル交換型の自動施錠型の鍵

これら新製品は全て ALLIGATE のプラットフォーム上で動作し、同一の UI で操作、運用が可能です。
また、当社との保守サポート契約により、利用者は専門知識がなくても安心してご利用頂けます。

2. 製品化の背景

ALLIGATE は、アクセス権の付与・抹消、利用履歴の確認などのアクセスコントロールに必要な機能を共通化したクラウド型プラットフォームです。このプラットフォームをベースにお客様の利用用途に合わせた製品を提供します。

ALLIGATE は 2017 年 11 月のリリース以降、お客様から机やロッカー、自動扉、駐車場ゲートなど、通常の扉の鍵にとどまらない用途での利用のご相談を頂きました。それらの要望に極力お応えするため、その一部の用途についてはオーダーメイドではなくレディメイドとすべく、製品開発を進め、このたび、汎用品として量産化のめどがついたため、本日、新製品として発表いたしました。

なお、今後とも、ALLIGATE はプラットフォームベースでの汎用的なレディメイドとお客様の要望に合わせたきめの細かいオーダーメイドとの2つの提供方法で、お客様へのご提案を行ってまいります。

3. 製品の展示について

2018 年 10 月 24 日から幕張メッセで開催される IoT/M2M 展に、新製品を展示します。当日はオフィスセキュリティからシェアリングエコノミーまでの具体的な利用例を展示する予定です。

(<https://alligate.me/2018/10/15/303/>)

(補足)ALLIGATE(アリゲイト)について

「ALLIGATE(アリゲイト)」は、スマホを用い、電子錠などのゲートの開閉管理が行えるクラウド型のプラットフォームです。スマホを使っていつでもどこからでも電子錠などのゲートをアクセスコントロールできます。また、機器の取り付けや運用後の現地での保守サポートも併せ持ったマネージド型のプラットフォームです。

株式会社アートが運営する「ALLIGATE(アリゲイト)」の詳細については以下の Web サイトをご覧ください。



ALLIGATE

<https://alligate.me>

◆本記事に対するお問い合わせ先:

株式会社アート 事業開発部 (担当: 田村 和寛・中村 太一)

TEL: 044-430-5321(代) FAX: 044-430-5322

E-Mail: alligate@art-japan.co.jp

Web : <https://alligate.me/>

※その他の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
※記載された内容は2018年10月現在のものです。
記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。